

校長先生のあのね帳 11月30日(月) NO.140

公開研究会を終えて・・・感謝

11月27日(金)の午後から公開研究会を行いました。コロナ禍での開催のために、参加者は事前予約された教員の方だけとしました。当日は24人の先生方がわざわざ本校の公開授業と提案授業を参観してくださいました。

参加者のみなさんは、①マスク着用 ②手指の消毒 ③検温 ④教室の換気 ⑤(いわゆる)3密を避けることにご協力いただき、子どもたちが安心・安全に学習ができるよう努めてくださいました。ありがとうございました。

授業を観て感想や意見などを用紙に記入してもらいました。一部を紹介します。

- ① 一番感じたことは子どもたちの意欲がすごい!!ということです。全員しっかり前を向き、問いに対して一生懸命考え、それを伝えたい!言葉にしたい!という気持ちが伝わってきました。(後略)
- ② 全クラスの「学びに向かう姿」に育ちを感じました。先生たちの授業づくりに向けた思いが、子どもたちに伝わっていますね。ありがとうございました。
- ③ 子どもが伸び伸びとしているだけでなく、言葉を使いこなしながら学び合っていく姿がたいへんすばらしかったです。(後略)学ぶことが多かったです。

24人の参加者のうち、少なくとも14人の方がアンケートにご協力くださいました。

回収率 約60%で、しかも14通とも、記述欄に「いねいにたくさんの意見や感想が書かれています。本当にありがとうございました。」

頂戴しましたご意見等は残り4か月の指導に活かし、現在の地点よりも高い水準の授業ができるように努めます。公開研はGOALではなく、通過点ですから。2学期までの学びについて子どもたちにきちんと力がついているのか。その検証に12月は取り組もうと予定しています。

公開授業と提案授業が終わり、次は全体会でした。大阪教育大学教授 住田 勝 先生によるご講演を聞きました。物語や小説の冒頭部に作者が散りばめたキーアイテム(キーワード)のを見つけ方やそれらの意味するところなどを聞いて「そうだったのか!」「なるほど!」とつぶやきがもれていました。これまでの積み重ねが生きたい研究会でした。本校の教職員のみなさん、ご参会の先生方、そして子どもたちのおかげです。ありがとうございました。